

単元名：四角形と三角形の面積

内容のまとめ：第5学年「B 図形」(3) 平面図形の面積

1 単元の目標

- (1) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積について求めることができる。
- (2) 図形を構成する要素などに着目して、求積可能な図形に帰着させ、基本図形の面積の求め方とともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。
- (3) 求積可能な図形に帰着させて考えたと面積を求めることができるというよさに気付き、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしていたり、見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしていたりしている。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えたと面積を求めることができるというよさに気付き、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。
② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

求め方を考えることで  
操作活動で使用  
する(思・判・表の)

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知技	思判表	主態度
1	平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	①②
2	平行四辺形の面積の公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
3	高さが平行四辺形の外にある場合でも、平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。 どんな平行四辺形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	①	①	
4	三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	
5	三角形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
6	高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。 どんな三角形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	①	①	
7	台形の面積の求め方を考え、説明することができる。		●①	●①
8	台形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	●②	●②
9	ひし形の面積の求め方を考え、説明することができる。ひし形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	①②	①②	●②
10	学習内容の定着を確認する。(評価テスト)	●①②		

ロイノートに  
自分のノート  
ロイノート上) /  
自分の考えで  
作成  
(カード・動画)  
スクリーン

iPadで  
心づて説明

ロイノートで  
全体で共有

単元名：「ごみ大作戦 ～調べたことを地域の人にリーフレットで報告しよう～」  
 教材名：「リーフレットを作ろう」(教育出版4年上)

1 単元の言語活動

本単元の言語活動として、「書くこと」の言語活動例「ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書く活動」を具現化し、社会科見学で学習したことをもとに、伝えたいことを明確にし、リーフレットで伝える活動を位置付けた。

児童は社会科の授業で学んだことや学校の中のごみの様子や調べたことをもとに、自分がリーフレットで伝えたいこと決めていく。児童の実態を踏まえ、相手や目的を意識し、必要な情報を選んだり、まとめた文章で伝える活動を位置付けた。

2 単元の目標

- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。【知・技(2)イ】
- 相手や目的を意識して集めた材料を比較し、伝えたいことを明確にするとともに、考えとそれを支える理由や事例が分かるように書き表し方を工夫することができる。【思・判・表 B-ア、ウ】
- 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書こうとすることができる。【学びに向かう力・人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使おうとしている。【(2)イ】	① 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。【B-ア】 ② 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。【B-ウ】	① 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書くとしている。

期末仕上げ!

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知技	思判表	主態度
社会科で、学校内のごみや家庭でどんなごみが出ているかを考え、社会科見学を通してどんなことを学ぶのイメージをもっておく。				
1	社会科で学習したことや学校のごみの様子について振り返り、社会科見学で聞きたいことを考える。また、聞いたことをリーフレットにしてみんなに知らせるための学習計画を立て、学習の見通しをもつ。			①
2	社会科見学で聞いたことを、付箋に整理する。「聞いたこと」「聞いてわかったこと」など付箋を色分けしてシートに整理する。足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。		①	①
3	自分が書いた付箋の中から、一番伝えたいことを選ぶ。聞いたこと、聞いて分かったことを見比べて、自分が一番驚いたことや伝えたいことを明確にする。		①	①
4	一番伝えたいことにあった事例や理由を選ぶ。教師モデルを見て、教師が一番伝えたいことを伝えるためにどのように選んだのかという視点をもとに、確かめる。また、友達に見てもらい伝わるかを確認し合う。足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。自分が選んだ付箋をリーフレットに貼ってみる。		②	②
5	選んだ事例や理由を入れながら文章を作り、構成を考え、下書きをする。その時に一番伝えたいことが伝わるようにグラフや図を入れる。		①	①
6	リーフレットの下書きを友達と見合い、伝えたいことが伝わる文章になっているかを確認する。		①	①
7	前時で確認した伝えたいことが伝わる文章になっているか見直したり、出典が入っているかを確認したりしながら、リーフレットに清書する。			
8	できあがったリーフレットを見合い、伝えたいことが伝わってきたか感想を出し合い、お互いのリーフレットの良さを見つけていく。			
9	リーフレットをお家の方に見てもらったり、地域の人に見てもらったりする。			

指導  
 個性化

① めめてとカードに  
 音、ロケットで、竟  
 2出し、全頁で共有形  
 主①

② ロケットのカードを  
 色分けし、整理する  
 思①

③ 1番伝えたいことの  
 大文字  
 文字、大文字にして  
 目立ようにする、友  
 友達の情報を共有  
 ④ 別の色のカードを  
 作る。(カードカラー)  
 ⑤ 色紙  
 思①

グラフや図、写真も  
 作る。表  
 説明をかく 思②  
 \*リーフレットしても  
 9/25にしようOK!

下書きをカードで  
 (おまけ)  
 ちろく修正 加題

共有機能を使って共通  
 に決めた色のカードに意  
 見感想を書く。  
 ペア・グループで話し合っ  
 てみる。 思①

同じようなおまけだっ  
 た人、全く違う角度から  
 のおまけだっただくと発表  
 合で交流する。意見誌  
 思②

保護者、地域の方  
 にはプレゼント  
 3つ折か両き4つ折りに  
 したリーフレットをお返  
 しする。

一連の単元活動「リー  
 フレット作り」の振り返り  
 する。 主①

自分の学びの一連の  
 まとめブックの出来上  
 かり☆  
 思①

単元名:「ごみ大作戦 ～調べたことを地域の人にリーフレットで報告しよう～」  
 教材名:「リーフレットを作ろう」(教育出版4年上)

1 単元の言語活動

本単元の言語活動として、「書くこと」の言語活動例「ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書く活動」を具現化し、社会科見学で学習したことをもとに、伝えたいことを明確にし、リーフレットで伝える活動を位置付けた。

児童は社会科の授業で学んだことや学校の中のごみの様子や調べたことをもとに、自分がリーフレットで伝えたいこと決めていく。児童の実態を踏まえ、相手や目的を意識し、必要な情報を選んだり、まとめたりして文章で伝える活動を位置付けた。

2 単元の目標

- ① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。【知・技(2)イ】
- ② 相手や目的を意識して集めた材料を比較し、伝えたいことを明確にするとともに、考えとそれを支える理由や事例が分かるように書き表し方を工夫することができる。【思・判・表 B-ア、ウ】
- ③ 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書くことができる。【学びに向かう力・人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使おうとしている。【(2)イ】	① 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。【B-ア】 ② 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。【B-ウ】	① 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書くとしている。

3 指導と評価の計画(例:10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知技	思判表	主態度
	社会科で、学校内のごみや家庭でどんなごみが出ているかを考え、社会科見学を通してどんなことを学ぶのかイメージをもっておく。			
1	社会科で学習したことや学校のごみの様子について振り返り、社会科見学で聞きたいことを考える。また、聞いたことをリーフレットにしてみんなに知らせるための学習計画を立て、学習の見通しをもつ。	① ロロ 情報共有		教師モデルを提示①
2	社会科見学で聞いたことを、付箋に整理する。「聞いたこと」「聞いてわかったこと」など付箋を色分けしてシートに整理する。足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。	① ロロ ノート可		
3	自分が書いた付箋の中から、一番伝えたいことを選ぶ。聞いたこと、聞いて分かったことを見比べて、自分が一番驚いたことや伝えたいことを明確にする。	① ロロ 共有		
4	一番伝えたいことにあった事例や理由を選ぶ。教師モデルを見て、教師が一番伝えたいことを伝えるためにどのように選んだのかという視点をもとに、確かめる。また、友達に見てもらい伝わるかを確認し合う。	① ロロ 共有		
5	足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。自分が選んだ付箋をリーフレットに貼ってみる。	① ロロ 共有		
6	選んだ事例や理由を入れながら文章を作り、構成を考え、下書きをする。その時に一番伝えたいことが伝わるようグラフや図を入れる。	① ロロ 共有		
7	リーフレットの下書きを友達と見合い、伝えたいことが伝わる文章になっているかを確認する。	① ロロ 共有		
8	前時で確認した伝えたいことが伝わる文章になっているか見直したり、出典が入っているかを確認したりしながら、リーフレットに清書する。	① ロロ 共有		
9	できあがったリーフレットを見合い、伝えたいことが伝わってきた感想を出し合い、お互いのリーフレットの良さを見つけていく。	① ロロ 共有		
10	リーフレットをお家の方に見てもらったり、地域の人に見てもらったりする。お家の人には、できたら感想をもらう。	① ロロ 共有		

写真撮影  
 写真をとって送る  
 写真共有  
 教師モデルを提示  
 分散  
 中継

前時の  
 反省  
 写真  
 訂正  
 構成  
 アドバイス

謙  
 前時  
 長びびり  
 ※ 子どもの実態と活用能力、  
 学級の人数等に依り  
 使い分ける



単元名：四角形と三角形の面積

内容のまとめ：第5学年「B 図形」(3) 平面図形の面積

1 単元の目標

- (1) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。
- (2) 図形を構成する要素などに着目して、求積可能な図形に帰着させ、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。
- (3) 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気付き、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとして、見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えるというよさに気付き、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。
② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知技	思考表	主態度
1	平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	①②
2	平行四辺形の面積の公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
3	高さが平行四辺形の外にある場合でも、平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。 どんな平行四辺形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	<i>平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。</i>	<i>どんな平行四辺形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。</i>	<i>平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。</i>
4	三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	
5	三角形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
6	高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。 どんな三角形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	<i>高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。</i>	<i>どんな三角形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。</i>	<i>高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。</i>
7	台形の面積の求め方を考え、説明することができる。		●①	●①
8	台形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②		
9	ひし形の面積の求め方を考え、説明することができる。ひし形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	①②		
10	学習内容の定着を確認する。(評価テスト)	●①②		

Handwritten notes on blue sticky paper:

- 平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。
- どんな平行四辺形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。
- 平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。
- 高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。
- どんな三角形でも、底辺の長さが高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。
- 高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。
- 台形の面積の求め方を考え、説明することができる。
- 台形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。
- ひし形の面積の求め方を考え、説明することができる。ひし形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。
- 学習内容の定着を確認する。(評価テスト)



単元名：四角形と三角形の面積

内容のまとめ：第5学年「B 図形」(3) 平面図形の面積

1 単元の目標

- (1) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。
- (2) 図形を構成する要素などに着目して、求積可能な図形に帰着させ、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。
- (3) 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとして、見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。
② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めている。		

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1	平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	①/②
2	平行四辺形の面積の公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
3	高さが平行四辺形の外にある場合でも、平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。 <i>比</i> 異なる平行四辺形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	①	①	
4	三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。			
5	三角形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
6	高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。 <i>比</i> 異なる三角形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。	①	①	
7	台形の面積の求め方を考え、説明することができる。		●①	●①
8	台形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	●②	●②
9	ひし形の面積の求め方を考え、説明することができる。ひし形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	①②	①②	
10	学習内容の定着を確認する。(評価テスト)	●①②		

面積の求め方を端末上で表示。全体交流へ

様々な図形を求積して、それを全体で集めて比較・検討

毎時間のまとめの練習問題カード活用

練習問題のカードを自分で選んで活用

それぞれの面積の求め方を端末上でかく (ノート撮影し、口で共有する)

端末上で、複数の求め方を比較  
↓  
公式の前に、子どもの言葉でまとめる。

令和4年度 第2回地域授業改善協議会 協議・演習資料【小学校体育】

単元名：高跳び（第4学年）

内容のまとめ：第3・4学年「C 走・跳の運動」

1 単元の目標

- (1) 高跳びの行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができるようにする。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 高跳びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 高跳びの行い方について、言ったり書いたりしている。	① 助走のリズムや踏切りなど、自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。	① 高跳びに進んで取り組みようとしている。
② 踏切り足を決めて跳んでいる。	② 友達との競争の仕方を考えたり、競争の規則や記録への挑戦の仕方を選んだりしている。	② きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。
③ 3～5歩の助走から強く踏み切って上方に高く跳んでいる。	③ 友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	③ 用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。
④ 膝を柔らかく曲げ、足から着地している。		④ 友達の考えを認めようとしている。
		⑤ 場や用具の安全を確かめている。

3 指導と評価の計画（例：6時間扱い） ※1、2、3、の項目はいずれの時間も行うため第2時から省略  
※本時のまとめの内容は毎時間同じのため、第2時から省略

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知技	思判表	主態度
1	1. 集合、整列、挨拶、健康観察			③⑤ 感覚づくりの運動を提示(ポイントを示す)
	2. 準備運動（リズムスキップ、8の字ゴム跳びなど）			
	3. 単元の学習内容の確認			
	4. 本時のねらいの確認 ・学習過程と1時間の流れ ・準備や片付けの仕方			
	・学習カードの記入の仕方			
	5. 感覚づくりの運動それぞれの運動のポイントを一つずつ確認			
	6. 試しの運動 ・記録測定			
	7. 本時のまとめ（学習カードの記入、振り返り、次時の学習の確認）			
8. 整理運動、片付け、挨拶				

2	4. 本時のねらいの確認 ・安全な着地（膝の曲げ）	④	①	着地の方法確認(動画) 自分の動きを写真動画で撮影する。動画課題を見つけた(20-11/21)
	5. いろいろな場で、競争をしながら高く跳ぶ ・グループでの競争 ・段ボール跳び ・ゴム跳び			
3	4. 本時のねらいの確認 ・跳びやすいまの足を見付ける ・3歩での助走の仕方（スタート足の確認）	②	①	右から、左からの踏み切り方法を理解する。(動画) 自分の動きをビデオで撮って、全体の共有。
	5. 自分の動きを確認しながら競争をする ・グループでの競争			
4	4. 本時のねらいの確認 ・3歩助走からの跳躍 ・リズムのよい（ピッチが上がる）助走→口伴走「レッツ・ゴー！」のリズム	③	③	「高く踏ぶ」視点で跳ぶ姿も見ると、どこかへ入るのイメージを持たせる その場で互いの動きをビデオで撮って、ポイントを確認する(協賛的)
	5. 自分の課題を見付け、解決のための場を選ぶ ・3歩助走コース ・5歩助走コース ・踏切り板コース			
5	4. 本時のねらいの確認 ・前時までの確認→自己の課題を確認し、解決に適した場を選ぶ ・5歩助走の仕方	①	④	前時までの改善点の動きをビデオで撮って、ポイントを確認する
	5. 自分の課題を見付け、解決のための場を選ぶ ・3歩助走コース ・5歩助走コース ・踏切り板コース			
6	4. 本時のねらいの確認 ・前時までの確認→自己の課題を見付け、それに適した練習を選ぶ ・5歩助走の仕方	②	②	丁寧な動き(うしろ向き) 自分で伸びの可視化
	5. 互いの動きを見合い、アドバイスを合して跳ぶ ・3歩助走コース ・5歩助走コース ・踏切り板コース			
8	4. 本時のねらいの確認 ・前時までの確認→自己の課題を確認し、解決に適した練習を選ぶ ・5歩助走の仕方			自分の課題解決に向けて、模範の動きを確認し練習する
	5. 互いの動きを見合い、アドバイスを合して跳ぶ ・3歩助走コース ・5歩助走コース ・踏切り板コース			
8	4. 本時のねらいの確認 ・前時までの確認→自己の課題を確認し、解決に適した練習を選ぶ ・5歩助走の仕方			自分の課題解決に向けて、模範の動きを確認し練習する
	5. 互いの動きを見合い、アドバイスを合して跳ぶ ・3歩助走コース ・5歩助走コース ・踏切り板コース			

\*日頃見慣れた、自分の姿を見つけた

模範の動きを自分のペースで見つけた

自分の課題解決に向けて、模範の動きを確認し練習する

自分の課題解決に向けて、模範の動きを確認し練習する



単元名：「ごみ大作戦 ～調べたことを地域の人にリーフレットで報告しよう～」  
 教材名：「リーフレットを作ろう」(教育出版4年上)

1 単元の言語活動

本単元の言語活動として、「書くこと」の言語活動例「ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書く活動」を具現化し、社会科見学で学習したことをもとに、伝えたいことを明確にし、リーフレットで伝える活動を位置付けた。  
 児童は社会科の授業で学んだことや学校の中のごみの様子や調べたことをもとに、自分がリーフレットで伝えたいこと決めていく。児童の実態を踏まえ、相手や目的を意識し、必要な情報を選んだり、まとめて文章で伝える活動を位置付けた。

2 単元の目標

- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。【知・技(2)イ】
- 相手や目的を意識して集めた材料を比較し、伝えたいことを明確にするとともに、考えとそれを支える理由や事例が分かるように書き表し方を工夫することができる。【思・判・表 B-A、ウ】
- 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書こうとすることができる。【学びに向かう力・人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使おうとしている。【(2)イ】	① 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。【B-A】 ② 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。【B-ウ】	① 学習の見通しをもって粘り強くリーフレットに報告する文章を書くとしている。

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	わらい・学習活動	評価規準		
		知技	思判表	主態度
社会科で、学校内のごみや家庭でどんなごみが出ているかを考え、社会科見学を通してどんなことを学ぶのかイメージをもっておく。				
1	社会科で学習したことや学校のごみの様子について振り返り、社会科見学で聞きたいことを考える。また、聞いたことをリーフレットにしてみんなに知らせるための学習計画を立て、学習の見通しをもつ。			
2	社会科見学で聞いたことを、付箋に整理する。「聞いたこと」			
3	「聞いてわかったこと」など付箋を色分けしてシートに整理する。足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。			
4	自分が書いた付箋の中から、一番伝えたいことを選ぶ。聞いたこと、聞いて分かったことを見比べて、自分が一番聞いたことや伝えたいことを明確にする。			
5	一番伝えたいことにあつた事例や理由を選ぶ。教師モデルを見て、教師が一番伝えたいことを伝えるためにどのように選んだのかという視点をもとに、確かめる。また、友達に見てもらい伝わるかを確認し合う。 足りないところや知りたいことがある際には、友達と情報を共有する。自分が選んだ付箋をリーフレットに貼ってみる。			
6	選んだ事例や理由を入れながら文章を作り、構成を考え、下書きをする。その時に一番伝えたいことが伝わるようにグラフや図を入れる。			
7	リーフレットの下書きを友達と見合い、伝えたいことが伝わる文章になっているかを確認する。			
8	前時で確認した伝えたいことが伝わる文章になっているか見直したり、出典が入っているかを確認したりしながら、リーフレットに清書する。			
9	できあがったリーフレットを見合い、伝えたいことが伝わってきたか感想を出し合い、お互いのリーフレットの良さを見つけていく。			
10	リーフレットをお家の方に見てもらったり、地域の人に見てもらったりする。			

ロニクレンジ

教師モデルを  
提示する 教師モデルを  
全員に送っておく  
(赤シート)

聞いたこと聞いただけでなく  
レポート上で色分け  
して整理 色分けを共有する  
(シートを共有する) 赤シートで  
書き出すのは  
文章を作る

10分間の思考力  
使う 色分けカードに  
伝えたいことを記入し  
ておく

レポートで足りない  
ことを調べる 調べたこと  
自分で見ると  
(個性化)

資料や図、グラフ  
レポート上で  
調べる 構成を考えた  
いく

下書きもレポート  
を見せたり  
紙に本番

写真を撮り、感想を送る  
画面大映写 9-フレットの  
発表 貼っておく(10分)

単元名：人はなぜ働くのだろう？～仕事を通して自己の生き方を考える～（第2学年）  
 内容のまとめ：「勤労」（全45時間）

1 単元の目標

地域の仕事や、その仕事に取り組む人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と自分自身の生き方の関わりに関付き、働くことの意味を自分との関わりで考えとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。	① 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。 ② 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 ③ 相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	① 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。 ② 仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。

3 指導と評価の計画（例：45時間扱い）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	評価規準		
		① 知技	② 思判表	③ 主態度
1 働くことの意味を考えよう。（15）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考えた働くことの意味、実際に働いている人が考える働くことの意味には違いがあることに気付く。</li> <li>地域にある職業を知り、職場体験学習をする事業所を決定し、事業種ごとに働くことの意味を探る計画を立てる。</li> </ul>	Keywords ① Q1Q比較 ネット		
2 実際に働き、自己の生き方を考えよう。（30）	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問点をまとめ、課題として設定するとともに、職場体験学習の計画を立てる。</li> <li>実際に職場体験学習を行い、事業所の方に新たな疑問についてインタビューをしたり、体験から得た感覚的な情報を自己の変化に着目して職場体験ハンドブックにまとめたりする。</li> </ul>	① Q1Qまとめ、整理		
		② ② まとめ、分類、共有 グラフ等 ①		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー活動で得た新たな情報や職場体験を通して記録したことを整理・分析し、仕事をする理由と自己の成長の関係を知る。</li> <li>将来の職業をイメージし、今後どのような社会人になりたいか、これからどのように生きたいかの提言をレポートにまとめ、立派式で発表する。また、発表内容を事業所に感謝の手紙とともに送り、事業所の方からコメントをもらう。</li> </ul>	③ 写真、動画、記録		
		③ ② 下書き、プレゼン		

情報収集

整理

発信

● 手書きポートフォリオもあり  
 ポスターセッション

● 使い分け



単元名：人はなぜ働くのだろう？～仕事を通して自己の生き方を考える～（第2学年）  
 内容のまとめ：「勤労」（全45時間）

1 単元の目標

地域の仕事や、その仕事に取り組む人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と自分自身の生き方の関わりに関付き、働くことの意味を自分との関わりで考えとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。	① 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。	① 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。
② 収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。	② 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。	② 仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。
③ 働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	③ 相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	

3 指導と評価の計画（例：45時間扱い）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	評価規準	
		表	主態度
1 働くことの意味を考えよう。(15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えた働くことの意味と、実際に働いている人が考える働くことの意味には違いがあることについて考える。</li> <li>・地域にある職業を知り、職場体験学習をする事業所を決定し、事業種ごとに働くことの意味を探る計画を立てる。</li> <li>・事業所にインタビュー（兼事前訪問）をしたり、事業者や地域へのアンケートを実施したりして、情報をもとに、働くことの意味について考える。</li> <li>・インタビューやアンケートで得られた情報を伝言に即して分類したり、表現したりする。</li> <li>・整理した情報をまとめ、学級全体で共有する。</li> <li>・全体共有で感じた疑問点をグループで共有後の活動の見通しをもつ。</li> </ul>	<p>地域にある職業を調べ（仕事）</p> <p>地域にある仕事と分類する。</p> <p>まとめる。(ロロ)</p>	
2 実際に働き、自己の生き方を考えよう。(30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問点をまとめ、課題として設定する。</li> <li>・実際に職場体験学習を行い、事業所な疑問についてインタビューをしたり、体験的な情報を自己の変化に着目してまとめる。</li> <li>・インタビュー活動で得た新たな情報や職場体験を通して記録したことを整理・分析し、仕事をする理由と自己の成長の関係を知る。</li> <li>・将来の職業をイメージし、今後どのような社会人になりたいか、これからどのように生きたいかの提言をレポートにまとめ、立派式で発表する。また、発表内容を事業所に感謝の手紙とともに送り、事業所の方からコメントをもらう。</li> </ul>	<p>動画撮影 (インタビュー) 地域生活にインタビュー</p> <p>得た情報を分類する。共有。(ロロ)</p> <p>動画撮影 (課題) インタビュー (課題) 職業体験について</p> <p>社会にどう役に立っているか</p> <p>職業について社会にどう役に立っているか</p> <p>最新の意見と比較する。(ロロ)</p>	<p>原稿づくり</p> <p>動画撮影 (課題)</p> <p>社会にどう役に立っているか</p> <p>職業について社会にどう役に立っているか</p> <p>最新の意見と比較する。(ロロ)</p>

1E-12  
 授業を見直し  
 ・200M  
 ・Tennis



題材名：「体験活動を学校生活につなごう」（第2学年）

内容のまとめ：学級活動「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」

関連：学級活動(1)「学級内の組織作りや役割の自覚」

1 学級活動(3)で育成を目指す資質・能力

- (1) 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能が身に付いている。
- (2) 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、自己の将来について、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。
- (3) 将来の生き方を描き、現在の生活や学習のあり方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

2 評価規準（内容のまとめごと）の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
① 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。	① 自分らしい生き方の実現に向けて、現在の学習や将来の進路についての課題を見だしている。	① 将来の生き方を見通したり、これまでの生活や学習を振り返ったりしようとしている。
② 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	② 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	② 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己表現を図ろうとしている。

3 指導と評価の計画（例：一連の活動と評価）

時間	ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知技	思判表	主態度
学校行事 始業式後	○ねらい ・学校教育目標（キャリア教育目標）、学年目標から自分のこの1年間の目標を設定する。 ○活動 ・「キャリア・パスポート」に1年間の目標を記入する。	学校や学年教育目標を踏まえ、個人目標の設定方法を身に付けている。	1年間でなりたい自分を表現している。	自主的に「キャリア・パスポート」を活用して自己の学びを見直し、振り返ろうとしている。

学級活動	「4ヶ月後のゴールを設定しよう」 ○ねらい ・前回立てた1年間の目標から、1学期の目標を設定する。 ○活動（個人）・キャリア・パスポートに1学期の目標を記入する。 ・1学期の目標を掲示する。	自分の1年間の目標を踏まえ、1学期の個人目標の設定方法を身に付けている。	自分の1学期の目標を表現している。	1学期の目標と職場体験を関連付けようとしている。
学校行事	「自分を知らう」 ○ねらい ・職業適性検査を通して自分の特性を知る。 ○活動 ・職業適性検査を受ける。 ・職業と適性の関係を知る。	検査の結果を参考にして、自分の適正や興味を理解している。 ・職業と適性の関係を知る。	自分の適性や興味から職場体験活動への見直しをもととしている。	
学校行事	「体験先の職場を選択しよう」 ○ねらい ・根拠をもって体験する職場を選択する。 ○活動 ・自分の適性や興味を確認する。 ・働く意義を確認する。	働く意義や自分が社会で果たしたい役割を理解している。 ・自分の適性や興味を確認する。 ・働く意義を確認する。	働く意義や自分が社会で果たすべき役割について考え、中学校における職場体験活動で何を学びたいのかを、根拠をもって説明している。	
= 職場体験活動を行う =				
学級活動	「体験活動を学校生活につなごう」 ○ねらい ・職場体験活動で学んだことをまとめ、今後の学校生活に生かす。 ○活動 ・職場体験活動レポートをまとめ、担当教員よりコメントをもらう。		職場体験活動で学んだことを自己と関わらせながら「キャリア・パスポート」に表現している。	担任からの助言や友人の声を参考に、職場体験活動の経験を学校生活に生かそうとしている。
学級活動	「1学期を振り返ろう」 ○ねらい ・職場体験活動を含め、1学期の活動を振り返る。 ○活動（個人） ・1学期の活動についてまとめ、2学期の目標を考える。		職場体験活動を含めた1学期を振り返り、表現している。	1学期を振り返ることにより、2学期への見直しをもととしている。